

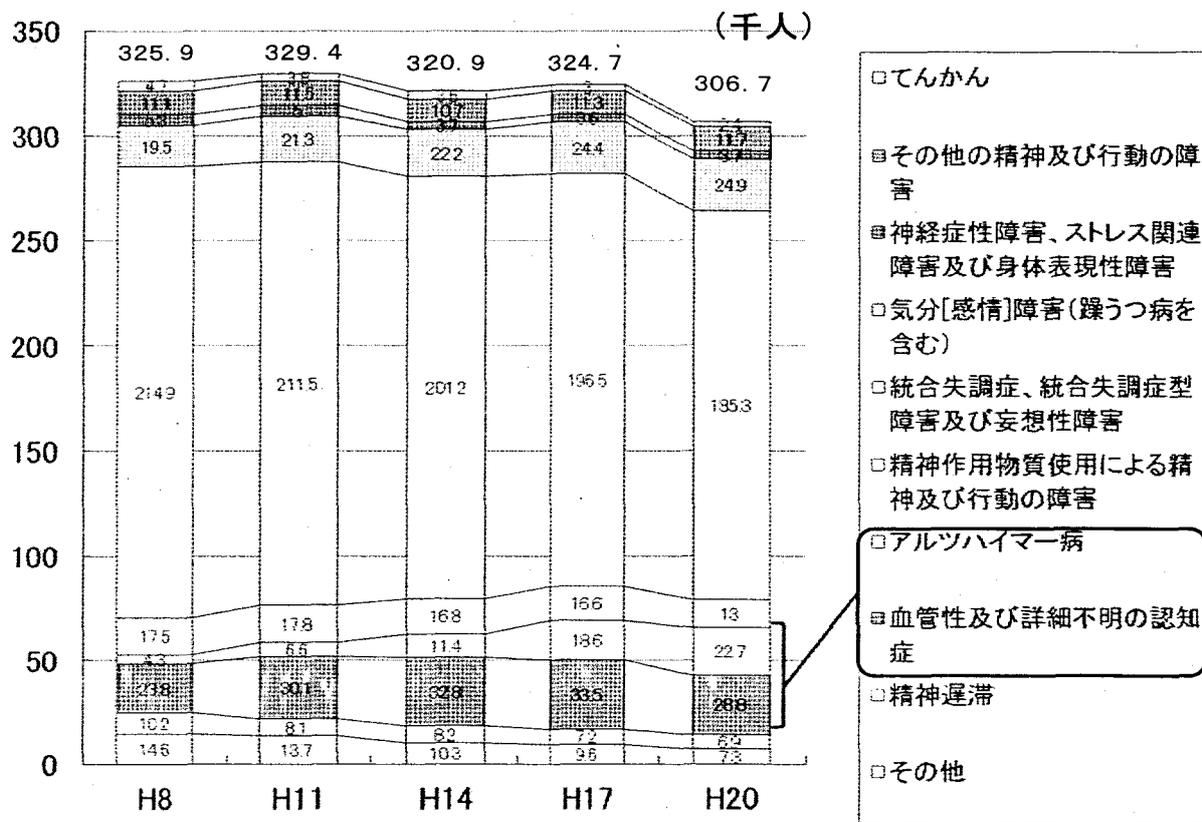
精神病床における認知症入院 患者の状況について

1

精神病床の状況について

2

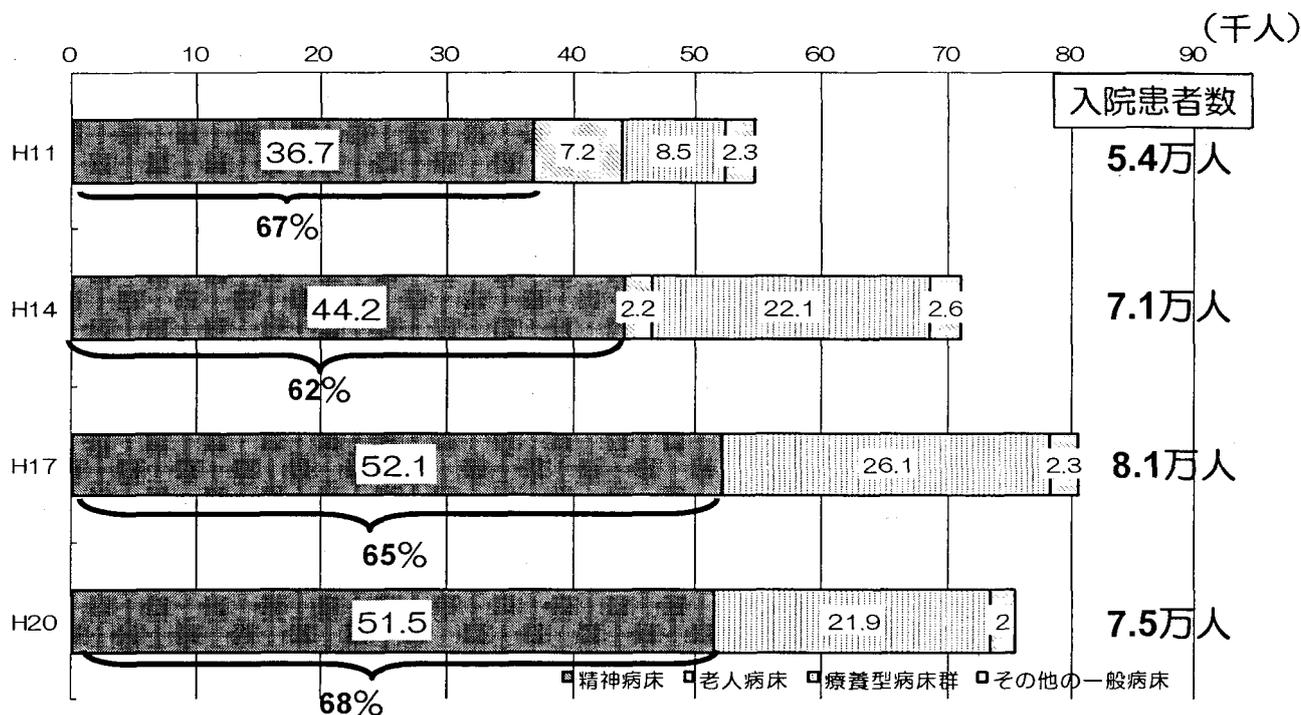
精神病床入院患者の疾病別内訳



資料：患者調査

3

認知症を主傷病名とする入院患者の病床別割合の年次推移 (血管性及び詳細不明の認知症+アルツハイマー病)

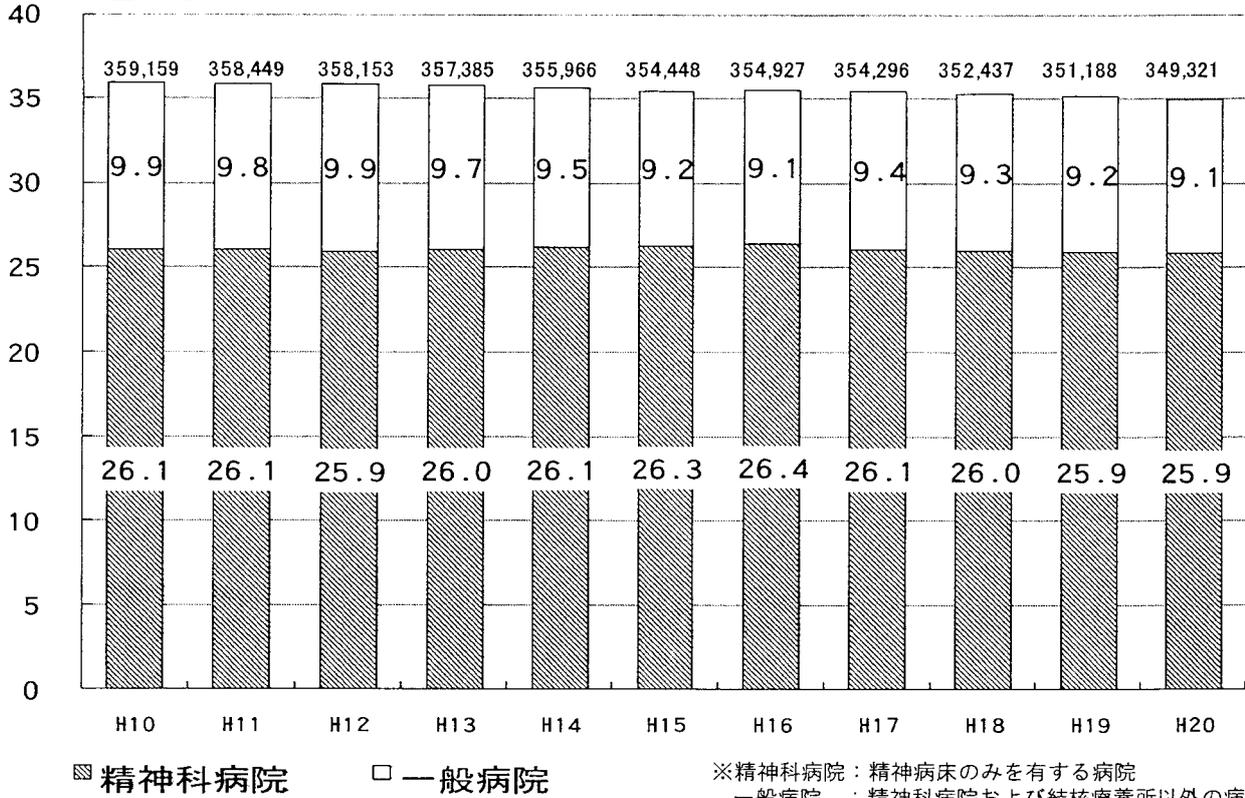


資料：患者調査 ※一般診療所を除く

4

精神病床数の変化

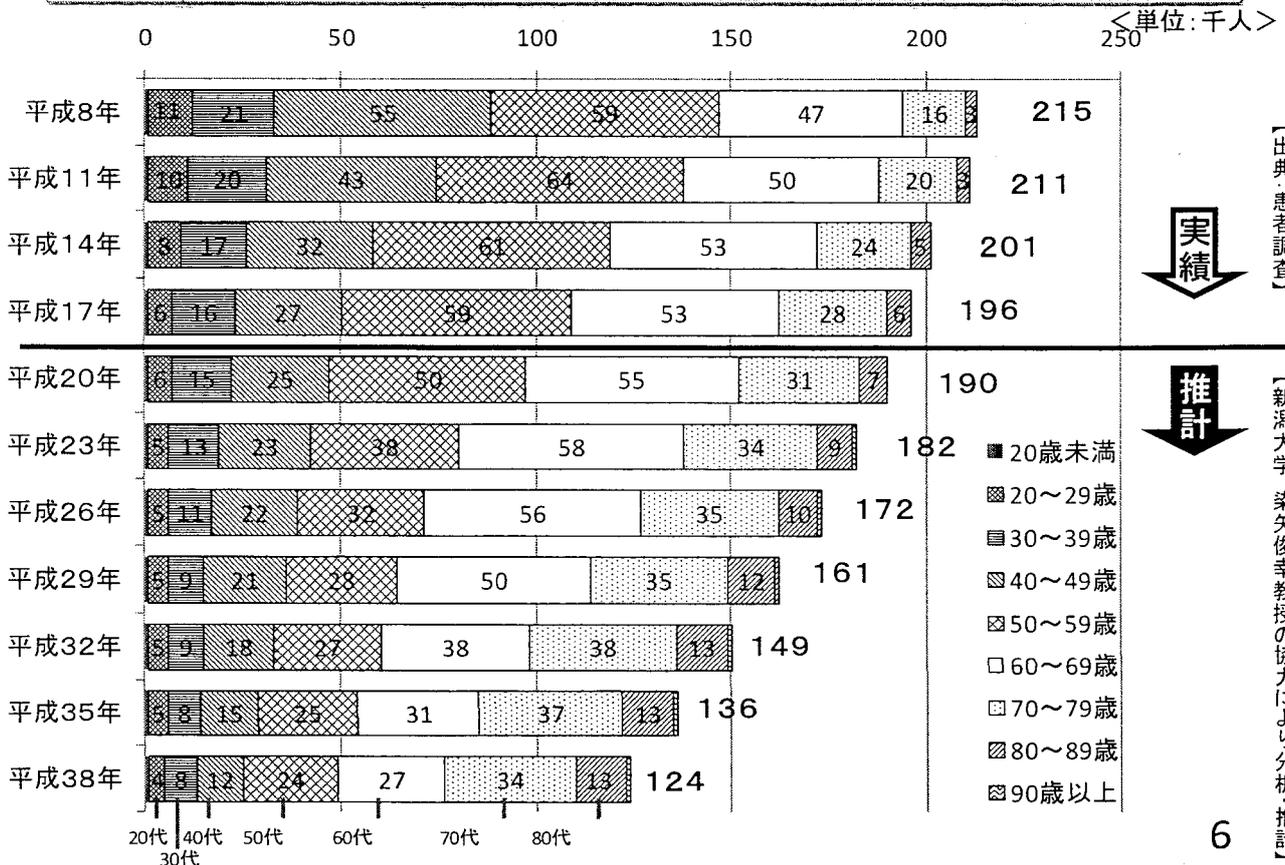
(床) 単位：万



資料：医療施設調査（毎年10月1日時点）

精神病床の統合失調症入院患者数の将来推計

(①患者調査による平成14年のn歳の入院患者数から、17年のn+3歳の入院患者数への増減率が将来のn歳の者においても変わらない(25歳以上)、②人口当たり入院率が平成17年以後一定(25歳未満)等の仮定をおいた推計)

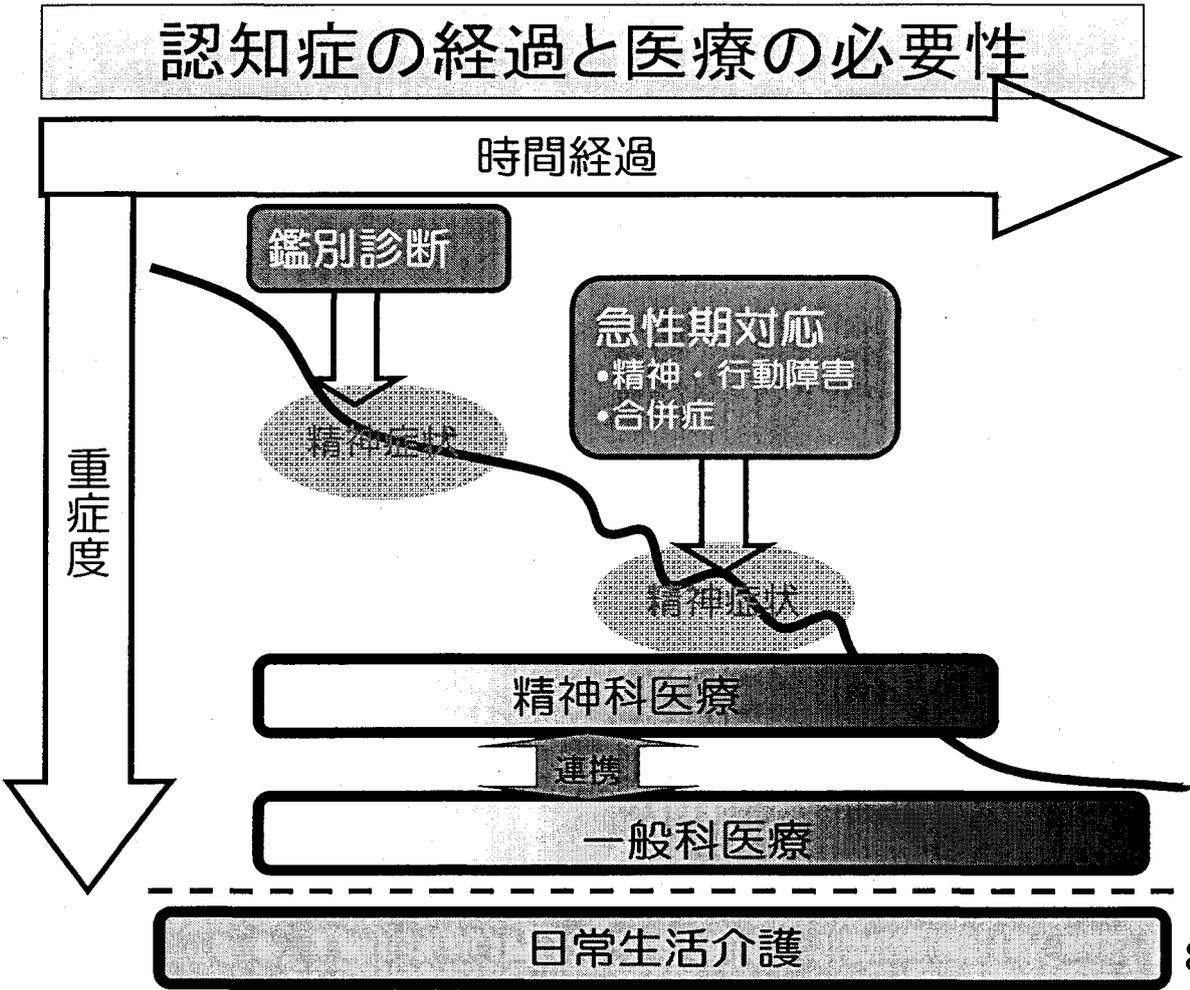


【出典：患者調査】

【新潟大学 染矢俊幸教授の協力により分析・推計】

認知症患者の状況について

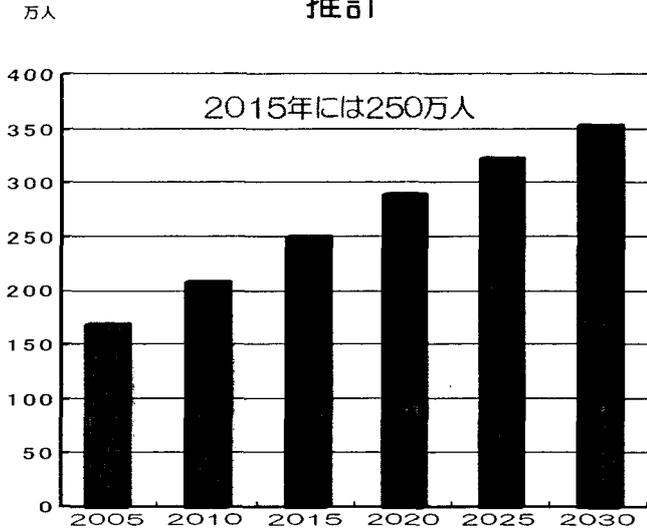
7



高齢者の増加と認知症疾患患者

介護領域からの推計

自立度Ⅱ(※)以上の認知症患者数の推計

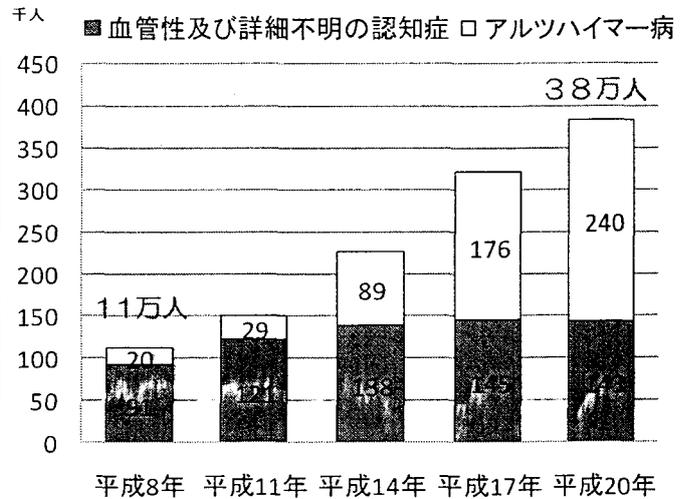


※自立度Ⅱ：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

認知症患者数の将来推計：厚生労働省老健局「2015年の高齢者介護」（平成14年9月末についての推計）、認知症患者の年次推移：患者調査

医療領域での推移

認知症疾患患者数の年次推移
(血管性及び詳細不明の認知症及びアルツハイマー病)

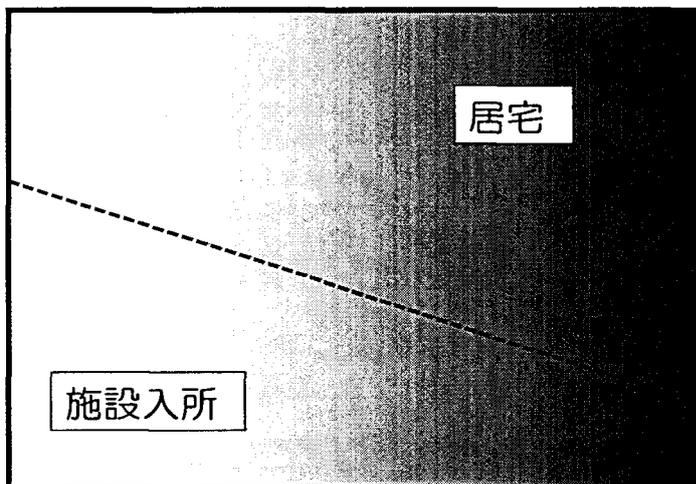


9

認知症患者の所在

介護

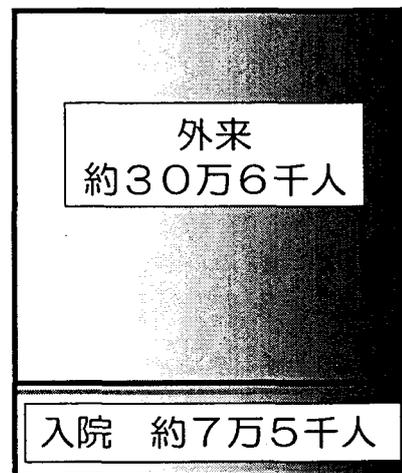
自立度Ⅱ以上の認知症高齢者
169万人



平成14年9月末についての推計に基づく、平成17年の推計値
厚生労働省老健局「2015年の高齢者介護」

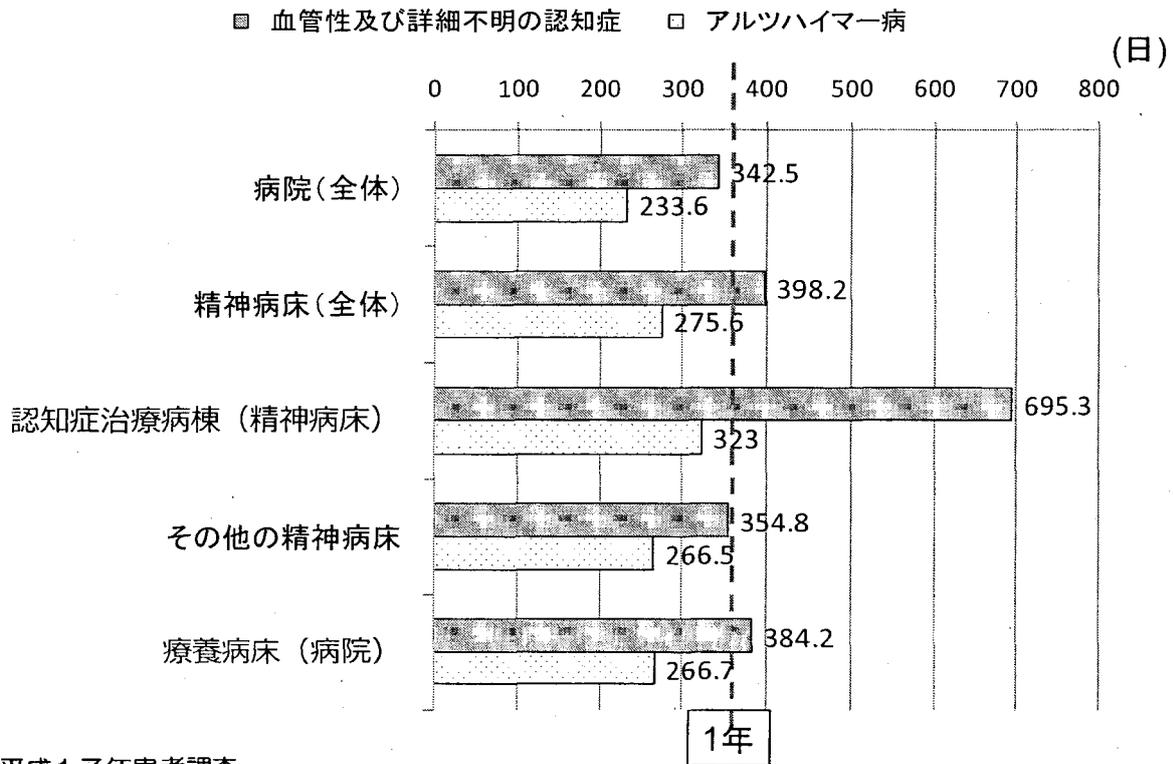
医療

血管性認知症及び詳細不明の認知症
アルツハイマー病
38万人



平成20年患者調査

病床種類別の認知症入院患者の平均在院日数



資料：平成17年患者調査

平成17年9月中に退院した患者の平均在院日数

精神病床の認知症入院患者(病棟種類別)

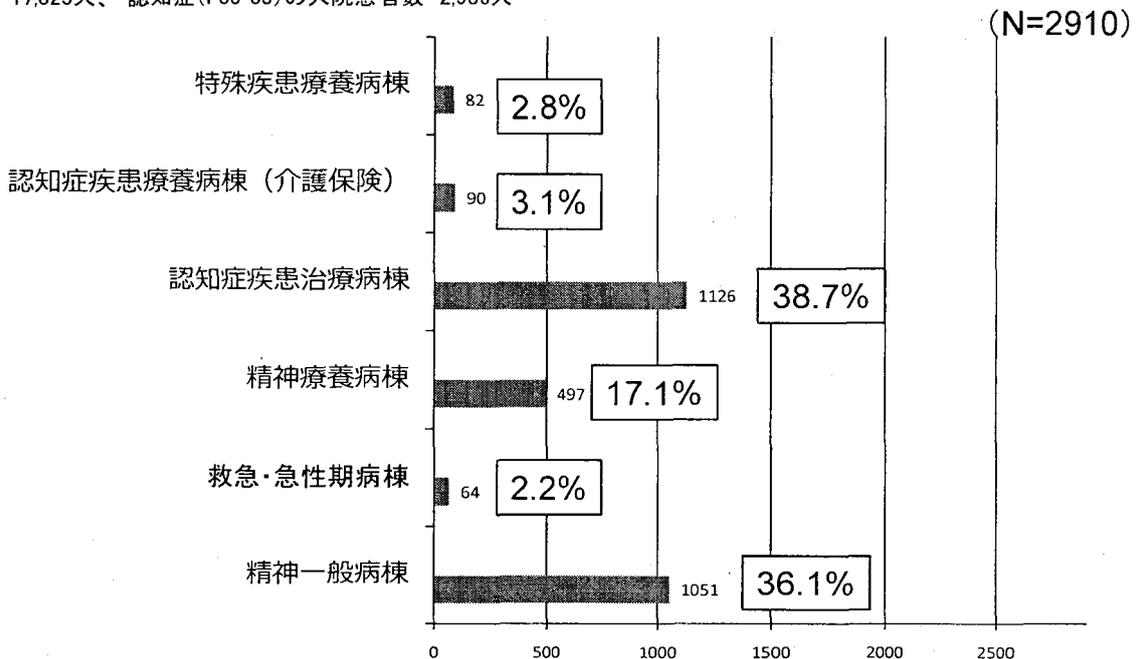
「精神病床の利用状況に関する調査」

(平成19年度厚労科研「精神医療の質の実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

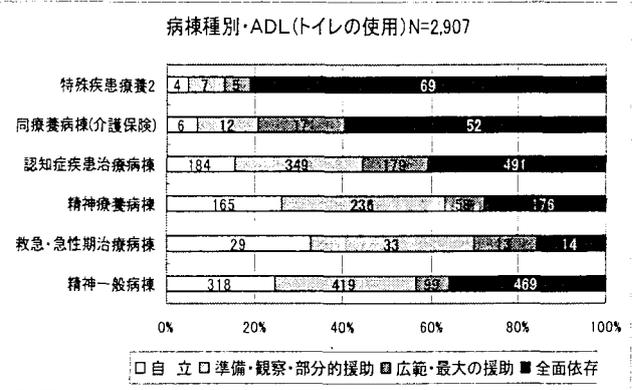
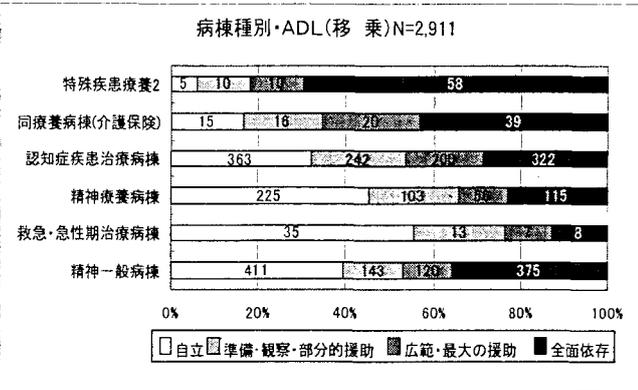
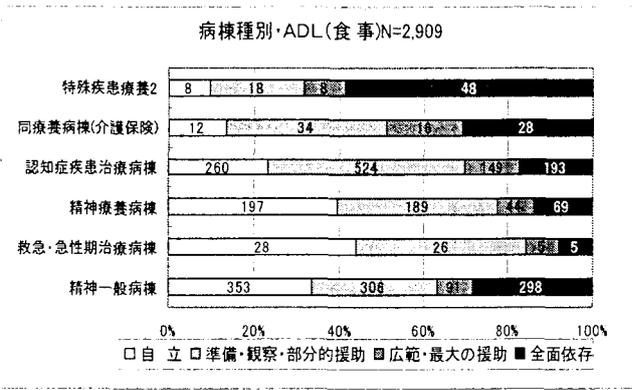
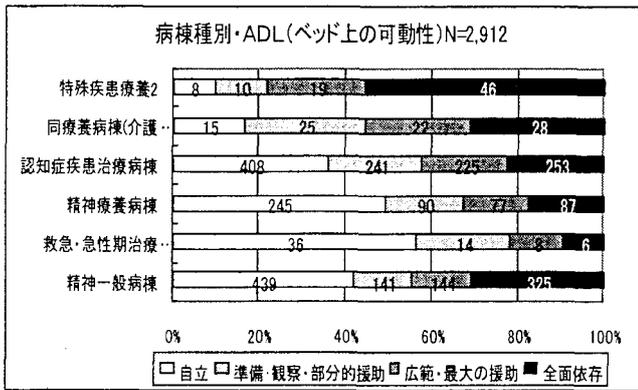
調査対象：全国の精神病床を保有する病院 1,542病院中 997病院が回答。

1か月の入院患者のうち10%を無作為抽出した調査にて、

回答総数 17,825人、認知症(F00~03)の入院患者数 2,936人

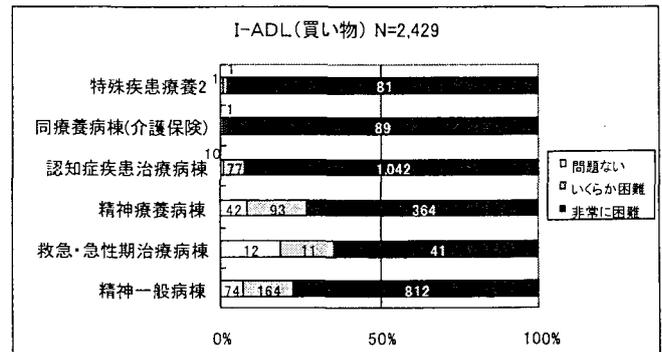
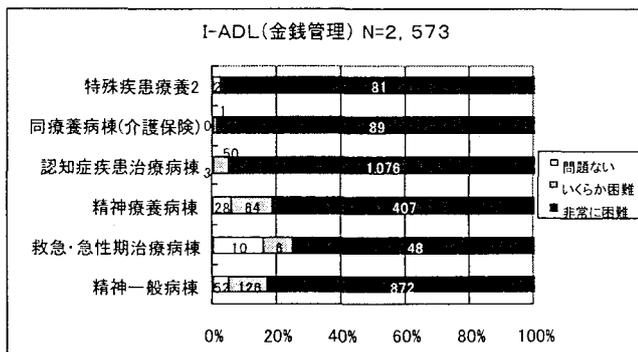
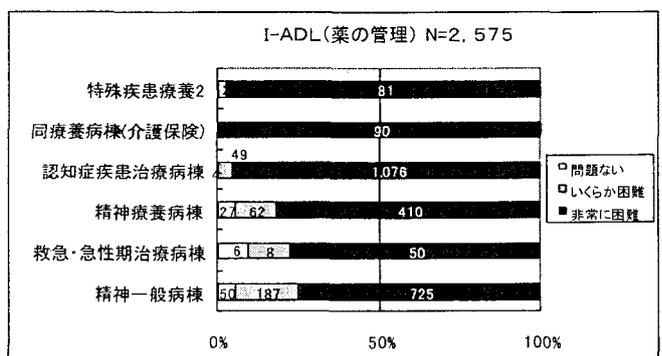
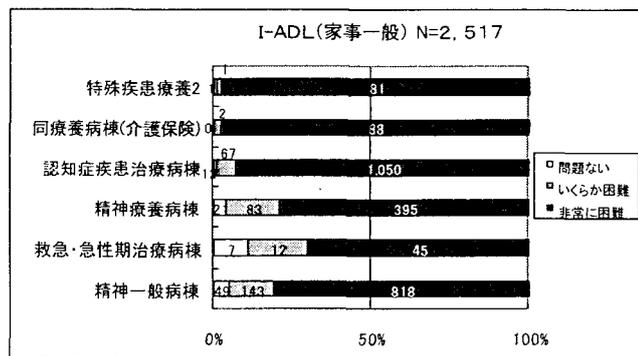


精神病床の認知症入院患者のADL



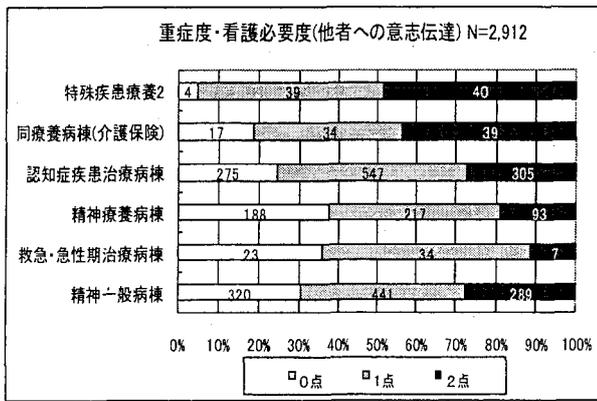
「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労科研「精神医療の質の実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

精神病床の認知症入院患者のI-ADL

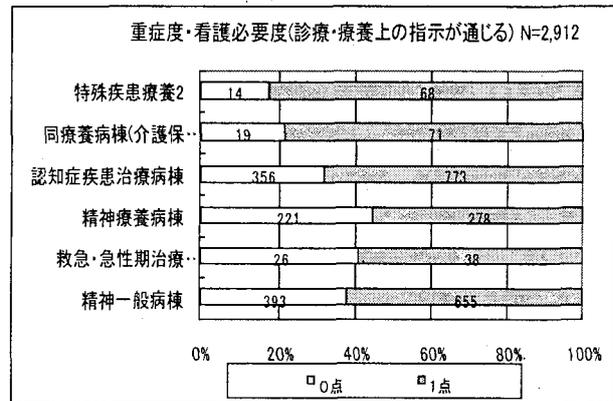


「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労科研「精神医療の質の実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

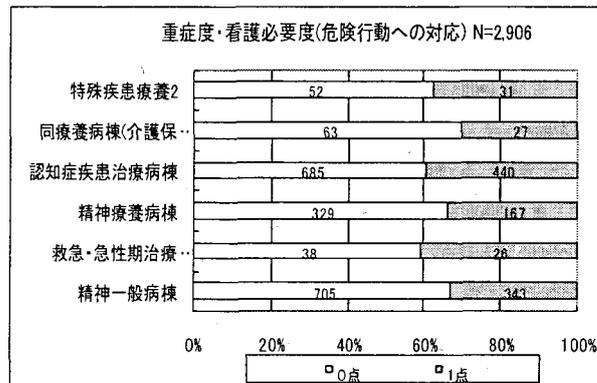
精神病床の認知症入院患者の重症度・看護必要度



0点:できる 1点:できる時とできない時がある 2点:できない



0点:通じる 1点:通じない



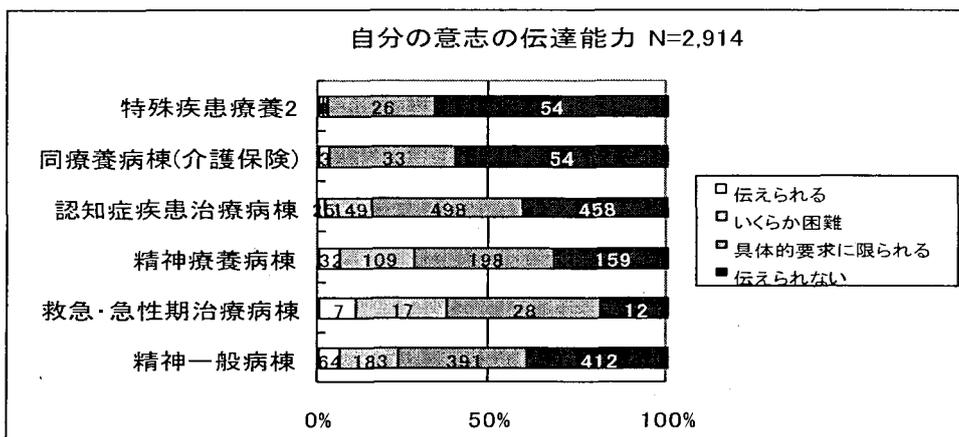
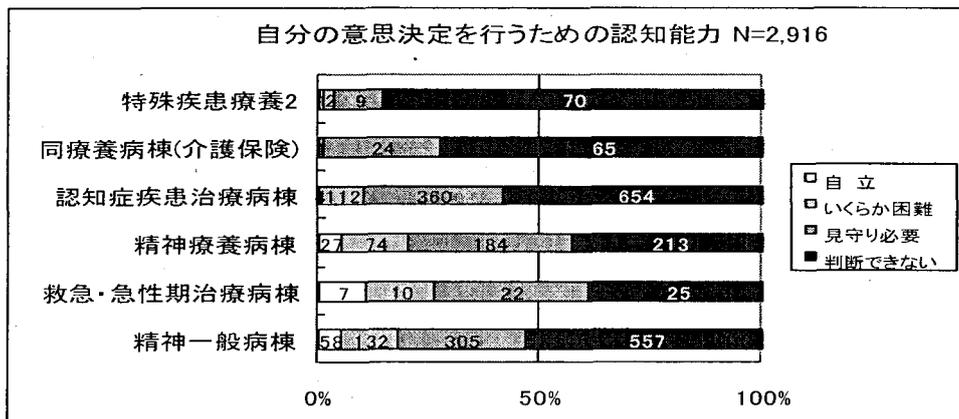
0点:なし
1点:あり

「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労科研「精神医療の質の実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

15

精神病床の認知症入院患者の認知能力・伝達能力

(調査日時点の状態)



「精神病床の利用状況に関する調査」より(平成19年度厚労科研「精神医療の質の実態把握と最適化に関する総合研究」分担研究)

16